

特集

浜松総幸福量

Gross Hamamatsu Happiness

徹底調査!!

“世界一幸せな国”として話題となったブータン王国のGNH(国民総幸福量)。では、住みやすい街として定評のある静岡県浜松市はどれくらいの幸福量なのか。ブータン王国のアンケート調査を参考に、市民519人を対象に「幸福度調査」を実施した結果、GHH(浜松総幸福量)は63%。
浜松市民が感じる「幸せ」とは？

AVERAGE			
自然環境	自然	浜松市は東は天竜川、西は浜名湖、北は天竜の山々、南は遠州灘と豊かな自然に囲まれています。あなたは、浜松市が自然に恵まれていると感じますか？	85 Hamamatsu Happiness
	気候	浜松市は日本有数の日照時間の長さで温暖な気候の都市だと言われています。あなたは、浜松市が気候に恵まれていると感じますか？	85 Hamamatsu Happiness
	位置	浜松市は、東京、大阪の中間に位置し、新幹線や高速道路など交通アクセスに恵まれている都市だと言われています。あなたは、浜松市が交通アクセスに恵まれていると感じますか？	72 Hamamatsu Happiness
健康	健康	浜松市は、健康を維持するための環境(健康増進施設、公園、健康増進事業)が充実していると感じますか？	53 Hamamatsu Happiness
	医療	浜松市は、総合病院や開業医などの医療機関が充実していると言われています。あなたは、浜松市は医療機関が充実している都市だと感じますか？	73 Hamamatsu Happiness
教育・教養	教育	浜松市は、子どもが学ぶことのできる環境(学校・塾、スポーツクラブなど)が充実していると感じますか？	58 Hamamatsu Happiness
	生涯学習	浜松市は、生涯学習を行うことができる機会や施設(公民館、図書館、博物館、美術館、科学館など)が充実していると感じますか？	55 Hamamatsu Happiness
文化	文化・スポーツ	浜松市は、芸術・音楽・スポーツなどに触れたり、参加したりする機会が充実していると感じますか？	60 Hamamatsu Happiness
	伝統	浜松市は、地域の伝統行事や伝統芸能に触れたり、参加したりする機会が充実していると感じますか？	55 Hamamatsu Happiness
基本的生活	出産・子育て	浜松市は、安心して出産ができる環境(医療機関、マタニティー教室等各種支援事業)が充実していると感じますか？	56 Hamamatsu Happiness
	食	浜松市は、野菜や魚介類などの地場食材が豊富だと感じますか？	73 Hamamatsu Happiness
	住	浜松市は、マイホーム(戸建・マンション)を持ちやすい環境にあると感じますか？	64 Hamamatsu Happiness
	買い物環境	浜松市は、生活必需品などの買い物がしやすい環境にあると感じますか？	71 Hamamatsu Happiness
	雇用	浜松市は、商業、工業、農業など働く環境が充実していると感じますか？	63 Hamamatsu Happiness
時間の使い方	余暇の充実	浜松市は、趣味など自分のための時間を楽しむ環境が充実していると感じますか？	54 Hamamatsu Happiness
	安全	浜松市は、地域の防災・防犯体制が充実していると感じますか？	52 Hamamatsu Happiness
地域共同体の活力	地域コミュニティ	浜松市は、自治会・町内会・青年会・子供会などの地域活動が積極的に行われていると感じますか？	60 Hamamatsu Happiness
	地域貢献	浜松市は、ボランティアやNPOなどの社会貢献活動に参加する機会に恵まれていると感じますか？	45 Hamamatsu Happiness
優れた統治	市政	浜松市政を総合的に見て、満足していますか？	53 Hamamatsu Happiness
心理的幸福	幸福度合	あなたは、現在、幸福だと感じていますか？	65 Hamamatsu Happiness

Hamamatsu
Happiness

自然が隣人

北に赤石山系、東に天竜川、南に遠州灘、西に浜名湖。
豊かな風土に恵まれたまち、浜松。
賑やかな中心地から少し車を走らせれば、そこはすぐに大自然。
多様な自然が織り成す美しく壮大な恩恵は、
数々のアウトドアを通して「今ある幸せ」を実感させてくれる。

自然環境
自然
幸福量

Hamamatsu
Happiness

キャニオニング&シャワークライミング

クリークサウンド
CreekSound

tel 0539-62-1772
(電話受付 8:00~22:00)
磐田市平松396-6

<http://www.creeksound.com/>

源流に近い渓谷がゲレンデとなり、沢を下流に向かうのがキャニオニング。反対に上流に向かうのがシャワークライミング。天然のウォータースライダーや、滝壺からのダイブ、滝に掛かる虹を眺めながらロープを使って登り下り。日頃の運動不足やストレスを解消できるスリル満点のアドベンチャースポーツだ。



雄大な天竜川が縦断し、南アルプスにつながる山々に囲まれた北遠地域(天竜区)は、トレッキング、キャンピング、シャワークライミング、ボートやカヌー、

近年、全国的に環境破壊が叫ばれ、自然に触れる機会の減少が問題視されている中、浜松市は海、山、川、湖と、豊かな自然に恵まれ、気軽に自然体験をする環境が整っている。さらに全国有数の好天候。気象庁が発表する「全国気候表」によると2011年度の浜松市の日照時間は2386.2時間。なんと全国第一位なのだ。ベストな環境とコンディションで、浜松市はまさにアウトドアの楽園と言える。

日常生活の中で、当たり前のように存在しながら、そのありがたみを感じていないものは数多い。その一つが「大自然」だ。しかし、意識をして自然の中に身を置けば、生かされている実感と感謝の気持ちを抱く瞬間がある。自然は私たちに、幸せを感じるきっかけと生きる活力をもたらししてくれるのだ。

鮎やヤマメのつかみ取り、キャンプなど、子どもから大人まで楽しめるアクティビティが満載。また、中田島砂丘がある遠州灘はサーフィンのメッカ。「遠州のからっ風」と呼ばれる南西風が吹きつ、海面がフラットになりやすい浜名湖では、ビギナーでも気軽に楽しめるウインドサーフィンや、ウエイクボードが盛んに行われている。そのほか、家族で楽しめる潮干狩りや、水中灯を触先にともし、モリで魚を獲る浜名湖独特の伝統漁法「たきや漁」、空中から浜名湖を一望するパラセーリングなど、アウトドアの種類はさまざま。

自然に恵まれているからこそ楽しめる、浜松市のアウトドア・アクティビティのんびり楽しめるものから、自然の力に立ち向かうハードなスポーツまで、海が好き、山が好き、小さい子どもやお年寄りまで、自分の好みや状況によって遊びを選択でき、その環境に身を置けることは何とも幸せなことだ。

幸せインタビュー

トレッキングは私のパワーの源!

トレッキングを始めたのは約4年前。富士山に初めて登ったときに見た、目の前に広がるすばらしい景色と、頂上で食べたご飯の五臓六腑に染み渡るおいしさに感動し、すっかりはまってしまいました。お味噌汁やカップ麺など普段食べるものと同じでも頂上で食べるご飯は格別です。浜松市は温暖な気候で雪の心配もあまりなく、トレッキングに最適な山がたくさんあります。

特に私は麻布山が好きで、休日によく登っています。景色が素晴らしい、野鳥やカモシカなどたくさんの動物に出会えます。途中、つらい山道にくじけそうになることもありますが、あの達成感とご飯のおいしさを思うとがんばれます。トレッキングをやり始めてから、ますます健康になりましたし、仕事をしていても全く疲れません。精神的にも強くなったと感じていますよ。



後藤 知香さん (ごとう ちか)
アウトドアショップスタッフ

レジャースポーツに関するお問い合わせは

1 パラセーリング

ファントムマリン コダマ
FANTOM MARINE
KODAMA
tel 053-487-2892
(電話受付 9:00~17:00)
浜松市西区館山寺町3289-3
浜名湖マリーナ遊覧船のりば
http://www.fantommarine.com/

2 ウインドサーフィン

マゼ
奥浜名湖ウインドサーフィン
スクールMaze
tel 053-526-0733
(電話受付 9:00~17:00)
浜松市北区三ヶ日町大崎1991-4
http://www.maze-jp.com

3 トレッキング・森林散策

浜松市産業部農林業振興課
tel 053-457-2159
(電話受付 8:30~17:15)
浜松市中区鴨江3-1-10

4 サーフィン

メインズサーフ
mains.
tel 053-540-0241
(電話受付 11:00~20:00)
浜松市西区舞阪町弁天島3775-10
http://www.mainssurf.com/

トツプレベルの 安心感は さくらなる高みへ

命をつなぐ医療の現場。

都市部と農山村部を併せ持ち、「国土縮図型」と言われる

浜松市において、格差のない高度な医療を広範囲で

提供することは一見難しいように思える。

しかし、浜松市の医療関係者により長年かけて培われてきた

医療のレベル、充実度は全国に誇れるものである。

「万が一の時でも安心できる」環境もまた、浜松市の

特筆すべき強みであり、「安心」という幸せを感じる要素なのだ。

浜松市における医療は、地方都市の

中で全国有数のレベルと言われている。

ドクターヘリの配置、各種救助隊を備え

た救急医療、高度医療・先端医療のいち

早い導入実績をはじめ、7つの総合病院

が開設されているなど、あらゆる状況に

対応できる環境にある。

また、総合病院、救急、地域医療（開業

医）が密接な病診連携を実現させている

のも特徴のひとつ。特に救急の面では、

夜間救急室を開設し、さまざまな医療機

関の連携をネットワーク化することで、

夜間休日でも安心できる「浜松方式」と

健康
医療
幸福量

Hamamatsu
Happiness



呼ばれる医療体制を構築し、各地の見本となっている。さらに、日常の診療における「オープンシステム(開放型病院)」も特徴のひとつに挙げられるだろう。全国で2番目に広い面積を持つ浜松市において、このような「いかなる地域でも最適な医療を受けられる」という安心感、市民が生活する上で欠かせない要素であり、誇れる部分と言える。

全国的に問題視されている地域医療の面でも、浜松市は充実していると言えよう。浜松市北部に位置する山間部、天竜区水窪町で親子4代、100年に渡って「鈴木診療院」を営み、静岡県医師会会長も務める鈴木勝彦医師はこう語る。

「浜松市の医療体制は『安心できる』と言い切って良いと思います。地域医療に關しても他の都市より進んでいますね。例えば、私のいる北遠(浜松市北部)医療圏は、山々に囲まれている広大なエリアです。大小15の集落があり、ヘリコプターを使用しなければならぬ救急事例も多数あります。そのような中でも、実にス

ムーズな地域医療体制、病診連携が維持できていると実感しています。ここまで高度な地域医療を実現させているのは浜松市の特長です。」

では、さらなる医療体制発展のために浜松市が進むべき方向性とは何か?

「それは『少子高齢化を見据えた在宅医療システムの構築』と『本来の町医者を復活させること』の2点です。」と鈴木医師は言う。現在、静岡県医師会では少子高齢化社会の行く末を見据え、在宅医療をより実践的にするシステムの構築を目指している。これからの時代、特に農山村部での地域医療などを考えた時に、より小回りの効く在宅医療を進化させることは必要不可欠となるだろう。患者とその家族はもちろん、医師、ケアマネージャー、ヘルパーなどの協力体制をシステム化し、在宅医療がより快適になる道を模索することが、近代的医療のさらなる安心感へとつながっていくはずだ。

そして、在宅医療システムを構築する

上で、重要なポジションとなるのが地域に貢献する医師の存在。求められるのは、「心と心の繋がりを大切にしたい」地域医療を支える医師たちである。古き良き『かかりつけ医』や『町医者』といった存在を復活させ、病気やケガの症状だけを見るのではなく、患者の心を掴み、日常的にコミュニケーションを図り、生活様式、家族のことまで知っている「よろず屋」的な医師が必要となってくる。そのような医師たちを育て、点在する無医地区にバランスよく配置し、地域に愛される『町医者』を増やしていくことが、浜松市の医療を発展させるキーポイントとなっていくのだ。

「いかなる地域でも最適な医療を受けられる」という安心感は、さらなる高みへ。浜松市の医療は、時代と都市をリードし、市民に信頼される体制へと進化していく。そこには、既存の救急体制、総合病院、高度・先端医療だけでなく、地域に愛される『町医者』が生活の一部として存在する環境が理想的だ。そうすれば浜松市の医療は、より市民の命を守り続けることができ、より「安心」という幸せで包み込むことができるだろう。



鈴木 勝彦さん (すずき かつひこ)
鈴木診療院 3代目 院長
息子の勝之さんが4代目を継いでいる

幸せインタビュー

余命1年半が、「いつもの町医者」のおかげですっかり完治

天竜区水窪町でずっと暮らしているので、「鈴木診療院」へは長年通っています。水窪町という山間地域では、このような信頼される町医者の存在は大変貴重ですね。8年前に肺ガンと診断され、ある総合病院では「手術はできない。余命1年半です」と診断されました。ところが、ずっとお世話になっている鈴木先生の見解は違ったんですね。「知久さんのことは良くわかっている。

日本トップレベルの肺ガン専門医がいる病院を紹介しますよ。大丈夫、必ず完治します!」って。もうその先生の一言でどれだけ楽になったか。こんな山間部の診療所なのに、すぐに都市部の病院と連絡を取り、手術までスムーズに進んだことに驚きました。ここまで見事な連携が取れるものなのか?って。おかげ様で、今ではこのように元気になりました!



知久 勝宣さん (ちく かつのぶ)
水窪町在住・70歳

マナーが築く 幸せのカタチ

「人を思いやる気持ち」マナーがしっかりとできてきている社会では、
幸せな暮らしが実現する。そのマナーが薄れつつある現代を危惧し、
浜松市内公立小・中学校の教育課程に
組み込まれた『はままつマナー』。

「いつでもどこでも何度でも」をコンセプトに
「心の耕し」をより実践的に、長期的な視野で推進する取り組みだ。
『はままつマナー』を通して構築されていく「幸せな暮らし」に
明るい浜松の未来を見ることができよう。

小学1年生から中学3年生までとい
う長期的な視野に立って、浜松市の子ど
もたちに社会で通用するマナーを教える
こと。これは同時に、子どもを持つ親や指
導する先生、さらに地域の大人たちをも
巻き込み、広く「マナーとは何か？」を再
認識するきっかけになり得る。「子どもた
ちに身に付けてほしいマナー」は、そのま
ま「大人が手本を見せなければならぬマ
ナー」なのだ。例えば、『はままつマナー』
低学年版に記されている「あいさつ」「こ
とば」「せいとん」「みだしなみ」などの項
目を取ってみても、気を付けていないと、
大人でもできていないことが多いだろう。
すると、『はままつマナー』を学んだ子ど
もたちに「ちゃんとあいさつしなきゃー！」
と指摘を受けてしまうのだ。

教育・教養
教育
幸福量

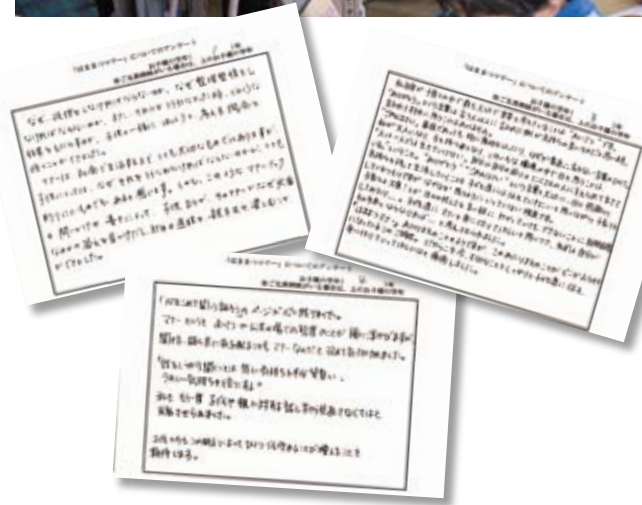
Hamamatsu
Happiness

このような波及効果は、導入後間もなく表れた。下記にある『はままつマナー』についてのアンケートにもあるように、「親として気付かされたところが多い」「私も家の整理整頓をしつかりしなければと思った」など、自らを正す意見や感想が親から多く寄せられているのだ。子どもたちに教えるマナーには、人を思いやる気持ちや身についた理想の姿が、一方、大人たちが気付くマナーには現状の改善が期待できる。教育事業の二環として導入された『はままつマナー』が、浜松市で家庭を持つすべての人を巻き込み、マナー向上を啓蒙させる事業となっていることとはとても興味深い。家庭内でマナーについて考え、実行することで、家族や学校、地域の雰囲気を変化していく。つまり、

マナーを学び知ることがエッセンスとなり、より快適に、幸せな時間を過ごせる社会の形成に期待を抱かせてくれるのだ。『はままつマナー』を身につけた子どもたちは、義務教育を終え、新しい世界に足を踏み出す時にも、スムーズに社会の一員へとなっていく。大人たちは、そんな子どもの成長を見守りながら、自身も『はままつマナー』で人間育成をし、世界へ羽ばたいても恥じることのないマナーを身に付ける。『はままつマナー』の未来は、子どもたちにも、大人たちにも、そして、浜松市にとってもとてつもなく大きなポジティブを与えてくれるだろう。いつでもどこでも何度でも「心の耕し」を深く刻んだ浜松人たちが、10年、20年先の「幸せな暮らし」を創り上げていくのである。



【はままつマナーとは】
3種の小冊子になっており、それぞれ小学校低学年版(1～3年生)、高学年版(4～6年生)、中学生版に分かれている(ポルトガル語版もあり)。小冊子を通して、子どもたち、そして子どもたちを見守る大人たちが、浜松人＝世界に通用する人として成長することを着地点とする新しい教育事業。



幸せアンケート

はままつマナーについてのアンケート。指導を受けた小中学生だけでなく、保護者からも「気付いたことが多い」「子どもたちとマナーについて話し合うことができた」など、有意義な意見が寄せられている。

【寄せられた意見の一部】

- 本来、家庭ですべきマナー教育が、学校でも行われていることをありがたいと思います。
- 子どもたちから大きな声で挨拶してくれて、心があたたかくなる瞬間があります。これぞマナーの力ですね。
- 相手の気持ちになって発言すればケンカやいじめもなくなると思います。



はままつマナーをきっかけに、より「幸せとは何か？」に気付いてほしい

磯部 志保さん(いそべしほ)
浜松市立追分小学校1年生担任

マナーと言うと押し付けがましい印象がありますが、「あれはダメ、これはダメ」ではなく、「みんなが気持ちよく生きていくために」という視点で指導することがポイントだと思っています。そうすることで、人に愛される、人の役に立つ、人に褒められる、人に必要とされるといった、日常生活での「幸せ」をみんなが感じ、理解してくれることに期待しています。はままつマナーをきっかけに、浜松に住む子どもたち、大人たちが「幸せとは何か？」に気付くようになってくれれば良いですね。